

# 今週のモーニングセミナー報告

令和5年4月5日（水）の講話 <第935回>

テーマ：「新たな時代を担う人を育む～三高みんなの食堂 プロジェクト～」

講師：香川県立三本松高等学校 元校長 泉谷俊郎 様

（松浦清貴 会長）本日葉第十条「働きは最上の喜び」 保険の仕事は2月3月が忙しい時期です。今週から新年度が始まります。会長職について、わが社の売り上げが伸びてきましたので楽しんで、会長職をしています。本日の講話者が元三本松高校の校長先生ということで、懐かしい校歌を歌います・・・「あしたにたかく～そびえ立つ～阿讃の峰にこもりたる～意志剛健の姿こそ～我が学び舎の鑑なれ～」元気よく歌っていただきました。

（泉谷 俊郎 様：三本松高校元校長）一週間前に校長職を退職、現在は東かがわ市教育委員会に在籍。小さい子供から地域社会をつなぐ役割の仕事、その準備をしています。三本松高校が教育者としての最初の学校、そして最後の学校でもあった。現在は普通科と理数科があります。三高生の三本柱<学業・部活動・自主活動>すべてを自主的に取り組む、自ら選択し、自ら活動、セルフマネジメント、自らを成長させる。新たな社会で活路を見出す、知識と技術「思考力・判断力・表現力」<主体性+協調性+多様性>の説明。虎丸ゼミとして自主参加・意見交換に外部からの指導者、社会人の指導を受けています。行動する事が大事、行動する人が立派。将来を見続けるとどんな人間性が望まれるのか～、学校が担う教育の在り方を考え実践する新たな形の具体的教育活動の事例として、2020年9月から始めた「三高みんなの食堂プロジェクト」の取り組み内容をプロジェクターを通して、時に動画を交えて講話していただいた。その1「自分たちの手で盛り上げる」。その2（活動目標）「みんなで、自分にできることを継続的に」。その3「食堂から地域を元気に」。一般的な高校の授業のカリキュラムには無い、学校としてユニークな教育取り組みの一環とその事例を分かり易く説明していただきました。

担当者：赤山 芳隆

1986年三本松高校に生物の教員として初任、その後2020年より三本松高校校長先生となる。2020年はコロナが始まった年で新年度は学校は休学だった。三本松高校は自分を成長させる、学びの質を高めることを目的として「三高みんなの食堂プロジェクト」

「虎丸ゼミ」など活動をする。生徒で畑チームをつくりイチゴを育て、メニュー開発チームもつくり工夫をして料理する。そして地域とのつながりの大切さを話されました。予算の関係上できないこともあったりしたが、私が高校生だった30年前の三本松高校とは違った活動をされていて楽しそうだなあと思いました。今の時代、これからの将来、言われたことをやるだけではダメで、自分で考え行動をして失敗しても大丈夫という考えが重要だと私も思います。私も新たなことにどんどん取り組もうと思いました。講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

## 連絡事項

※次回のモーニングセミナーは4月12日（水）朝6：00～7：00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「こころの姿勢」と題しまして（一社）倫理研究所 法人局 法人レクチャラー 黒川義之様のご講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 20社 20名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス [rinri-hk@ma.pikara.ne.jp](mailto:rinri-hk@ma.pikara.ne.jp)